

2027年度

学生募集要項



**SHINSHU
UNIVERSITY**

信州大学大学院

総合人文社会科学研究科（修士課程）

総合人文社会科学専攻

災害等及び交通機関の事故等により、所定の試験日程による試験実施が困難になる不測の事態が発生した場合は、試験開始時刻の繰り下げ等の措置を行うことがあります。新たな措置を講じる必要が生じた際には、本研究科 web サイト又は出願時に登録したメールアドレスへお知らせします。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/humanitiesandsocialsciences/admission/>

信州大学大学院総合人文社会科学研究科

学生募集要項 目次

I. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	2
1. 信州大学大学院入学者受入方針	2
2. 信州大学大学院総合人文社会科学研究科入学者受入方針	2
3. 各分野の入学者受入方針	2
II. 総合人文社会科学研究科学生募集要項	5
1. 募集人員	5
2. 出願資格	5
3. 入学資格審査	8
4. 出願手続	9
5. 選抜日時等及び選抜方法	19
6. 合格者の発表	27
7. 入学手続	28
8. 障害等のある受験者に対する合理的配慮について	29
9. 入試情報の開示	30
10. その他	30

個人情報の利用

信州大学における入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜のほか、次の目的のために利用します。

- ①入学手続
- ②学籍管理
- ③修学指導
- ④学生支援関係業務
- ⑤入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

この「学生募集要項」は必ずダウンロード又は印刷し、熟読してください。

I. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 信州大学大学院入学者受入方針

信州大学大学院は、以下のような能力や意欲を備えた人たちの積極的に受け入れます。

- ・幅広い教養と専攻する分野の専門知識を持ち、さらに高度な専門的知識・専門応用能力を修得したい人
- ・知的好奇心が旺盛で、専門的課題や地域社会の抱える課題に主体的に取り組む人
- ・深い知性、論理的な思考力、豊かな人間性を備え、様々な分野でリーダーシップを発揮し、活躍したい人
- ・社会・環境・国際問題に関心を持ち、創造力を活かし、グローバルに活躍したい人
- ・職業経験から獲得した知識・技能を高度化、深化させたい人

2. 信州大学大学院総合人文社会科学研究科入学者受入方針

総合人文社会科学研究科（総合人文社会科学専攻）では、真理を探究する確かな基礎研究と実証に基づく高度実践研究との融合知の蓄積、地域を活かす学びの環境を基盤にして、独創的な提案力を持ち、問題解決に向けた課題の整理、課題解決のための計画・実行力を持った地域中核人材の輩出を目指しています。そのため、次のような資質・能力を備えている学生を求めています。

1. 知識・技能

- ・専門領域の基本的な専門的知識・技能を有している者

2. 能力

- ・情報の収集・分析を通じた研究を行うために必要な考察力・思考力を有し、問題関心・課題や分析内容を平易かつ的確に表現することができる者

3. 意欲

- ・学問研究に対する強い意欲を有している者
- ・社会が抱える課題の解決に取り組む意欲を有している者

上記の素養を持つ大学院生を選抜するために、一般選抜では各専門領域に必要な専門試験を課すとともに、面接では必要な知識と基礎学力に加え、学問研究や社会の課題解決への意欲を判定します。また成績証明書・研究計画書などの評価を加えて総合的に可否を判定します。

3. 各分野の入学者受入方針

（1）人間文化学分野の入学者受入方針

人間文化学分野では、現実の社会に働きかける、のびやかで生き生きとした知の力である「実践知」を基盤として、高度な論理的思考と科学的分析によって、複雑で多様な諸問題の根元を解明し、創造的な指針を得る「知の方法」に展開させることを目標にしています。「知の方法」を得た人物は、あらゆる科学や応用技術を支えるもっとも基本的かつ実践的基盤である、柔軟な認識能力・多角的分析能力・

豊かな表現能力を身につけることとなりますので、進学先・就職先その他社会生活においても、それを活かして活躍していくことが期待されます。

上記の目標を達成するため、本分野の学生には、以下の能力や意欲が素養として要求されます。

1. 知識・技能

- ・専攻する専門領域の基礎学力

2. 能力

- ・文章などを的確に理解し、それに基づいて判断でき表現できる能力およびプレゼンテーション能力

3. 意欲

- ・学問研究に対する強い意欲
- ・社会が抱える課題の解決に、人間文化学的アプローチから取り組む意欲を有している者

本分野では、上記の素養を持つ大学院生を選抜するために、一般選抜の前期日程では、1・2 に対して各専門領域に必要な外国語文献・資料などを含む専門試験を課すとともに、面接試問では 3 を中心にして、必要な知識と基礎学力を判定します。また成績証明書などを加えて総合的に合否を判定します。一般選抜の後期日程では、1・2 に対して研究計画書、課題作文の提出を課すとともに、口述試問では 3 を中心にして、必要な知識と基礎学力を判定します。また成績証明書などを加えて総合的に合否を判定します。

社会人特別選抜及び私費外国人留学生選抜の前期日程では、1・2 に対して小論文を課すとともに、面接試問で 3 を中心にして必要な知識と基礎学力を判定します。また成績証明書・研究計画書・自己申告書などを加えて総合的に合否を判定します。

社会人特別選抜及び私費外国人留学生選抜の後期日程では、1・2 に対して研究計画書、課題作文の提出を課すとともに、口述試問では 3 を中心にして、必要な知識（私費外国人留学生選抜では日本語能力を含む）と基礎学力を判定します。また成績証明書・研究計画書などを加えて総合的に合否を判定します。

（２）心理学分野の入学受入方針

総合人文社会科学研究科（総合人文社会科学専攻）心理学分野では、真理を探究する確かな基礎研究と実証に基づく高度実践研究との融合知の蓄積、地域を活かす学びの環境を基盤にして、独創的な提案力を持ち、問題解決に向けた課題の整理、課題解決のための計画・実行力を持った地域中核人材の輩出を目指しています。そのため、次のような資質・能力を備えている学生を求めています。

1. 知識・技能

- ・心理学及びその関連領域の基本的な専門的知識・技能を有している者

2. 能力

- ・情報の収集・分析を通じた研究を行うために必要な考察力・思考力を有し、問題関心・課題や分析内容を平易かつ的確に表現することができる者

3. 意欲

- ・心理学研究に対する強い意欲を有している者
- ・社会が抱える課題の解決に、心理学的アプローチから取り組む意欲を有している者

4. 臨床心理学コース

- ・1～3に加えて、人々の心の健康の保持増進に取り組む意欲を有している者

上記の素養を持つ大学院生を選抜するために、一般選抜では心理学及びその関連領域に必要な専門試験を課すとともに、面接では必要な知識と基礎学力に加え、学問研究や社会の課題解決への意欲を判定します。さらに、これに加えて臨床心理学コースでは、人々の心の健康の保持増進への意欲を判定します。最終的に、成績証明書・研究計画書などの評価を加えて総合的に可否を判定します。

(3) 経済学分野の入学受入方針

経済学分野では、信州大学大学院総合人文社会科学研究科入学受入れの方針に基づき、次のような資質・能力を備えている学生を求めています。

1. 知識・技能

- ・経済学の基本的な専門的知識・技能を有している者

2. 能力

- ・経済学に必要な統計学の基礎的手法における考察力・思考力を有している者

3. 意欲

- ・経済学の学問研究に対する強い意欲を有している者
- ・社会が抱える課題の解決に取り組む意欲、旺盛な知的好奇心とリーダーシップをとるのに相応しいコミュニケーション能力を有している者

上記の素養を持つ大学院生を選抜するため、一般選抜では経済学に必要な基礎知識及び統計手法に関する専門試験を課すとともに、面接では必要な知識と基礎学力に加え、学問研究や社会の課題解決への意欲を判定します。また成績証明書・研究計画書などの評価を加えて総合的に可否を判定します。

(4) 法学分野の入学受入方針

法学分野では、信州大学大学院総合人文社会科学研究科入学受入れの方針に基づき、次のような資質・能力を備えている学生を求めています。

1. 知識・技能

- ・法学領域の基本的な専門的知識と法律的な考え方を身につけている者

2. 能力

- ・情報の収集・分析を通じた研究を行うために必要な考察力・思考力を有し、問題関心・課題や分析内容を、法律的な考え方に基づいて、平易かつ的確に表現することができる者

3. 意欲

- ・法学領域の学問研究に対する強い意欲を有している者
- ・社会が抱える法的課題の解決に取り組む意欲を有している者

上記の素養を持つ大学院生を選抜するために、一般選抜では法律学の専門領域に必要な基礎知識や法律的な考え方に関する専門試験を課すとともに、面接では必要な知識と基礎学力に加え、学問研究や社会の課題解決への意欲を判定します。また成績証明書・研究計画書などの評価を加えて総合的に可否を判定します。

Ⅱ．総合人文社会科学部研究科学生募集要項

1. 募集人員

分野	専門領域/コース	選抜区分	募集人員
人間文化学分野	哲学・思想論領域、社会学領域、文化情報論領域、実験心理学領域、社会心理学領域、日本史領域、東洋史領域、西洋史領域、日本文学領域、日本語学領域、中国語学・中国文学領域、比較文学領域、ドイツ語学・ドイツ文学領域、フランス語学・フランス文学領域、英語学領域、英語文学領域、芸術コミュニケーション領域	一般選抜	6 人
		私費外国人留学生選抜	
		社会人特別選抜	
心理学分野	発達科学・認知科学・人間科学領域	一般選抜	6 人
		社会人特別選抜	
	臨床心理学コース	一般選抜	10 人
経済学分野		一般選抜	4 人
		推薦特別選抜	
		社会人特別選抜 (後期日程のみ)	
法学分野		一般選抜	4 人
		推薦特別選抜	
		社会人特別選抜 (後期日程のみ)	
計			30 人

2. 出願資格

(1) 一般選抜・私費外国人留学生選抜

下表の1～14のいずれかの資格を満たす者

出 願 資 格 等 の 詳 細 説 明	
1	大学（修業年限4年以上）を卒業した者又は2027年3月までに卒業見込みの者
2	学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は2027年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
3	外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者
4	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者

5	我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は 2027 年 3 月までに修了見込みの者
6	外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって 5 の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は 2027 年 3 月までに授与される見込みの者
7	専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第 125 条の 2 第 1 項に規定する特定専門課程をいう。）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は 2027 年 3 月までに修了見込みの者
8	文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号参照）
9	学校教育法第 102 条第 2 項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者で、本研究科において、教育を受けるにふさわしい学力があると認められるもの
10	本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、2027 年 3 月 31 日までに 22 歳に達するもの
11	2027 年 3 月までに大学に 3 年以上在学し、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認められるもの
12	外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者又は 2027 年 3 月までに修了見込みの者であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認められるもの
13	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者又は 2027 年 3 月までに修了見込みの者であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認められるもの
14	我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は 2027 年 3 月までに修了見込みの者であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認められるもの

※ 私費外国人留学生選拔出願者は、上記に加え、外国国籍を持ち、在留資格「留学」を有しているか、入学時に「留学」を取得見込みの者としします。

※ 外国の教育課程を修了し、出願を希望する場合は、事前に出願資格について各分野へご相談ください。（「4. 出願手続（3）書類提出先及び問い合わせ先」を参照）

（2）社会人特別選抜

※ 人間文化学分野、心理学分野発達科学・認知科学・人間科学領域、経済学分野（後期日程）、法学分野（後期日程）のみ実施

- ① 2027年4月1日現在満25歳以上の者
 - ② 2027年4月1日現在満25歳未満であるが、出願時に定職についている者
- 上記のいずれかに該当し、かつ下表の1～6の各号のいずれかの資格を満たす者

出 願 資 格 等 の 詳 細 説 明	
1	大学（修業年限4年以上）を卒業した者
2	学校教育法第104条第7項の規定により、学士の学位を授与された者又は2027年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
3	外国において学校教育における16年の課程を修了した者
4	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
5	文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
6	本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに22歳に達するもの

（3）推薦特別選抜

※ 経済学分野、法学分野のみ実施

下表の1～3の全ての資格を満たす者

出 願 資 格 等 の 詳 細 説 明		
1	出願時点で、信州大学経法学部4年次に在学しており、2027年3月31日までに卒業見込みの者	
2	経済学分野	3年次後期までの通算GPAが2.5以上の者又は「ミクロ経済学Ⅰ」、「マクロ経済学Ⅰ」、「統計学Ⅰ」の全ての成績が「優」以上の者
	法学分野	3年次後期までの通算GPAが2.5以上の者又は「刑法Ⅰ」、「民法総則・物権法」、「憲法」の全ての成績が「優」以上の者
3	指導教員（出願時に指導教員がいない場合は大学院で受け入れ予定の教員。以下同じ）の推薦を受けている者	

※ 推薦特別選抜への出願は、前期日程又は後期日程のどちらか一方になります。前期日程に出願して不合格となった者は、後期日程の推薦特別選抜に出願することはできません（後期日程の一般選抜に出願することは可能です）。

3. 入学資格審査

「2. 出願資格（1）の9～14又は（2）の6」により出願しようとする者は、以下に定める書類に基づき入学資格審査を行います。

（1）申請書類受付

① 受付期間

前期日程	2026年7月28日（火）～8月3日（月）（17時までに必着）
後期日程	2026年12月7日（月）～12月11日（金）（17時までに必着）

- ② 申請書類の提出は原則郵送（「簡易書留郵便」（日本国外からはEMS又はDHL等））のみとします。封筒の表に「大学院入学資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。
- ③ 提出先：「4. 出願手続（3）書類提出先及び問い合わせ先」へ提出してください。

（2）申請書類

書類等		摘要
1	入学資格審査申請書	本研究科 web サイト掲載の所定の様式をダウンロードし、必要事項を記入してください。（ https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/humanitiesandsocialsciences/admission/ ）
2	成績証明書	最終学歴の学校等の長が作成し、厳封したものを提出してください。ただし、厳封を必要としない「すかし」「浮き出し文字」等の不正防止処理が施された用紙を使用した証明書の場合は、厳封は不要です。 成績証明書は、在学時の履修状況が示されていることが必要です。 英語以外の外国語の証明書には、出身校や大使館等の公的機関で翻訳証明を受けた英語訳又は日本語訳を添付してください。
3	卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書	一度しか発行されない証明書（出身校が修了証書や成績通知書等を修了時に一度発行するだけで、以降証明書を発行しない場合）についてコピーを提出する場合は、出身校や大使館等の公的機関で原本（オリジナル）証明を受けたものを提出してください。

（注） その他、申請書に添付書類が必要となる分野もあるため、申請前に確認してください。

（3）入学資格審査結果の通知

審査結果は、前期日程：2026年8月26日（水）、後期日程：2027年1月6日（水）までに申請時のメールアドレス宛にご連絡します。

※ 上記期限内に審査結果が届かない場合には速やかに問い合わせ先（「4. 出願手続（3）書類提出先及び問い合わせ先」）へ電話連絡をしてください。

※ 迷惑メール対策などでドメイン指定受信の設定をされている場合、必ず次のドメイン指定受信の設定を行ってください。「@shinshu-u.ac.jp」

※ 迷惑メールフォルダに振り分けられているケースがあります。お問い合わせの前に一度、ご確認をお願いします。

4. 出願手続

(1) 出願期間

① 前期日程

分野	期間
人間文化学分野	2026 年 8 月 28 日（金）～9 月 3 日（木）17 時（必着）
心理学分野	
経済学分野	
法学分野	

② 後期日程

分野	期間
人間文化学分野	2027 年 1 月 8 日（金）～1 月 14 日（木）17 時（必着）
心理学分野	
経済学分野	
法学分野	

※ インターネット出願登録サイトへの登録及び入学検定料等の支払いは、前期日程：2026 年 8 月 21 日（金）、後期日程：2027 年 1 月 1 日（金）から可能です。

※ 必要書類等の提出は原則郵送とし、出願期間最終日 17 時（日本時間）までに必着とします。

(2) 出願方法

※ インターネット出願の詳細については、15 ページからの「(7) インターネット出願の流れ」を参照してください。

Step 1 ～ 5 出願内容の登録等（顔写真のアップロードを含む。）

この募集要項を熟読のうえ、出願する内容に間違いがないよう登録してください。
（特に、選抜区分、志望分野等）

Step 6 入学検定料等の支払い

ア 入学検定料 30,000 円

※ その他システム利用料（900 円）、また、入試成績開示を希望する場合は、別途手数料（800 円）が必要となります。

イ 支払期間【全分野】

前期日程	2026 年 8 月 21 日（金）～9 月 3 日（木）
後期日程	2027 年 1 月 1 日（金）～1 月 14 日（木）

（注）支払方法の詳細については、インターネット出願登録サイト上で確認してください。（クレジットカード等による決済）

Step 7 出願書類等の郵送

出願確認票をインターネット出願登録サイトの「申し込み一覧」から印刷し、必要書類（「(4) 出願書類等」を参照）とともに市販の角形 2 号封筒（240mm×332mm）に入れます。その封筒に出願登録サイトの「申し込み一覧」から印刷した宛名ラベルを貼り付け、「(3) 書類提出先及び問い合わせ先」に記載の志望する分野の入試事務室へ簡易書留速達郵便（日本国外からは EMS 又は DHL 等）で郵送してください。出願期間最終日 17 時までに到着したものを受け付けます。

※ インターネット出願登録サイトへの登録だけでは、出願手続は完了しません。
出願期間内に書類等を郵送することで完了します。

Step 8 受験票の印刷

「受験番号確定メール」を受信後、インターネット出願登録サイトから印刷してください。（※郵送はしません。）

（3）書類提出先及び問い合わせ先

分野名	提出先及び問い合わせ先
人間文化学分野	信州大学大学院総合人文社会科学研究科 人間文化学分野入試事務室（信州大学人文学部内） 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 電話 0263-37-2255 E-Mail: jgakumu1@shinshu-u.ac.jp
心理学分野	信州大学大学院総合人文社会科学研究科 心理学分野入試事務室（信州大学教育学部内） 〒380-8544 長野市西長野 6 の口 電話 026-238-4041 E-Mail: edu-ad@shinshu-u.ac.jp
経済学分野	信州大学大学院総合人文社会科学研究科 経済学分野・法学分野入試事務室（信州大学経法学部内） 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 電話 0263-37-2304 E-Mail: graduate_law_econ@shinshu-u.ac.jp
法学分野	

(4) 出願書類等

入学志願者は、次の書類等を取り揃えて出願期間内に提出してください。

(①、②は全分野共通書類)

① インターネット出願登録サイトから印刷する書類等

※印字されている内容に誤りがないか、必ず確認してください。

出願書類等		摘要
1	出願確認票	A4サイズ of 用紙に印刷してください (白黒印刷可)。
2	宛名ラベル	印刷したものを市販の角形2号封筒 (240mm×332mm) に貼り付け、必要書類を入れて郵送してください。

② インターネット出願登録サイトでアップロードが必要なもの (郵送による提出不要)

出願書類等		摘要
3	写真	受験票用顔写真の画像ファイルをアップロードしてください。 ・志願者本人のみ (出願3か月以内に撮影した上半身、正面向き、無帽、無背景、枠なし) でカラー撮影したもの ・ファイル形式は JPEG 又は PNG とし、高画質 (100KB～5MB) で撮影したもの (写真サイズは縦横比4:3) ・不鮮明なもの、背景が暗いもの、画像に加工を施しているもの等は使用できません。

③ 志願者が準備する書類等

分野ごとに提出する書類が異なります。備考欄に従って提出してください。

人：人間文化学分野

発：心理学分野発達科学・認知科学・人間科学領域

臨：心理学分野臨床心理学コース

経：経済学分野

法：法学分野

出願書類等		摘要	備考				
			人	発	臨	経	法
4	成績証明書	最終学歴の学校等の長が作成し、厳封したものを提出してください。 ただし、厳封を必要としない「すかし」「浮き出し文字」等の不正防止処理が施された用紙を使用した証明書の場合は、厳封は不要です。 在学時の履修状況が示されていることが必要です。 なお、大学院を修了した者又は修了見込みの者は、大学と大学院の成績証明書を提出してください。 英語以外の外国語の証明書には、出身校や大使館	○	○	○	○	○

出願書類等		摘要	備考				
			人	発	臨	経	法
		等の公的機関で翻訳証明を受けた英語訳又は日本語訳を添付してください。 一度しか発行されない証明書（出身校が修了証書や成績通知書等を修了時に一度発行するだけで、以降証明書を発行しない場合）についてコピーを提出する場合は、出身校や大使館等の公的機関で原本（オリジナル）証明を受けたものを提出してください。					
5	卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書	最終学歴の学校等の長が作成した証明書又はこれに代わるものを提出してください。 入学資格審査で合格した者は本大学院の入学資格審査の結果通知書のコピーを提出してください。 英語以外の外国語の証明書には、出身校や大使館等の公的機関で翻訳証明を受けた英語訳又は日本語訳を添付してください。 一度しか発行されない証明書（出身校が修了証書や成績通知書等を修了時に一度発行するだけで、以降証明書を発行しない場合）についてコピーを提出する場合は、出身校や大使館等の公的機関で原本（オリジナル）証明を受けたものを提出してください。	○	○	○	○	○
6	課題等	【後期日程志願者のみ】 20ページからの「5. 選抜日時等及び選抜方法（2）選抜方法」を参照し、指示に従って課題等を作成し、その他の出願書類と同封し提出してください。	○				
7	日本語能力試験又は日本留学試験成績通知書	【外国人志願者のみ】 過去に日本語能力試験又は日本留学試験を受験した者は日本語能力試験（N1）又は日本留学試験（日本語）の成績通知書のコピーを提出してください。 なお、受験していない者が不利益となることはありません。	○	○	○	○	○
8	「住民票の写し」又は「パスポート」のコピー	【外国人志願者のみ】 現に日本国に居住し、かつ、「在留カード」又は「特別永住者証明書」を所持している者は、「住民票の写し」（居住している市町村長が発行するもの）を提出してください。 それ以外の者は、「パスポート」のコピー（氏名、国籍、生年月日、性別が記載された部分及び日本国査証の部分）を提出してください。	○	○	○	○	○

（注）改姓により証明書等との氏名が異なる場合は、改姓後の「戸籍抄本」を提出してください。

④ 本研究科の web サイトからダウンロードして準備する書類

(<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/humanitiesandsocialsciences/admission/>)

「※」は本研究科（各分野）の独自様式を示す。

出願書類等		摘要	備考				
			人	発	臨	経	法
9	研究計画書 ※	卒業論文等従来の研究主題とその概略及び入学後の研究計画を記入してください（2,000字程度）。	○				
10	口述試験用調書 ※	必要事項を記入してください。 各項目について字数の制限はありません。		○	○		
11	研究計画書 ※ 又は 研究計画書（社会人） ※	経済学分野所定の様式に従い作成してください。 「一般選抜」、「推薦特別選抜」を希望する者は、「研究計画書」を提出してください。 「社会人特別選抜」（後期日程のみ実施）を希望する者は、「研究計画書」と「研究計画書（社会人）」の両方を提出してください。 社会人で、「一般選抜」を希望する者は「研究計画書」に代えて「研究計画書（社会人）」を提出することも可能です。				○	
12	参考資料	「研究計画書（社会人）」の「3 文章化された業績」に記載した場合には、重要と考えられるものすべてのコピーとその要約（各1,200字程度）を添付してください。				○	
13	研究計画書 ※	法学分野所定の様式に従い作成してください。					○
14	自己申告書 ※	法学分野所定の様式に従い作成してください。					○
15	参考資料	税理士試験における税法科目の免除を受けるために税法に関する修士論文を執筆することを希望する者は、税理士試験を受験したことがあればその結果通知書のコピー、その他にも税理士となるための能力・適性を評価するのに役立つ資料があればその資料を添付してください。					○
16	推薦書 ※ 又は 推薦書（推薦特別選抜） ※	組織から派遣される社会人志願者は、本研究科所定の様式により志願者の所属する組織の長又は所属部局等の長が作成したものを厳封して提出してください。 推薦特別選抜志願者は、本研究科所定の様式により、指導教員が作成したものを厳封して提出してください。 上記以外の志願者は、推薦書を提出する必要はありません。				○	○

社会人特別選抜志願者は上記（9～16）以外に次の書類を提出してください。

出願書類等		摘要	備考				
			人	発	臨	経	法
17	自己申告書 ※	志願者の能力、適性を審査するのに役立つと考えられる資料等のリストを記入してください。	○	○			
18	在職証明書	出願資格(2)社会人特別選抜②の者のみ提出してください。	○	○		○	

(5) 出願に際しての注意事項

- ① 入学検定料支払期間内に入学検定料が支払われないもの及び出願書類等に不備があるものは、受理しません。
- ② 出願書類等の提出後は、選抜区分、志望分野の変更は認めません。
- ③ 受理した出願書類等は、返還しません。
- ④ 入学検定料の返還請求は、次の場合のみ受け付けます。それ以外の場合は、いかなる理由があっても支払済みの入学検定料は返還しません。返還手続方法については、本学のホームページをご覧ください。(入試情報ポータル／入学検定料返還手続 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/)
 - ・ 入学検定料を誤って二重に支払った場合
 - ・ 入学検定料を支払ったが出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
 - ・ 入学検定料免除を申請する場合
- ⑤ 出願書類等に虚偽の記載があった場合には、入学許可を取り消します。
- ⑥ 出願後、受信場所(本人連絡先)を変更した場合は、直ちに出席した分野の入試事務室に届け出てください。

(6) 入学検定料免除について

信州大学では、次の要件を満たす申請者の入学検定料を全額免除します。

【入学検定料免除の要件】

志願者又はその学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で被災し、居住する住家が全壊、大規模半壊又は半壊の被害を受け罹災証明書(写し)が提出できる場合であって、その罹災日が出願期間の最終日前1年以内であること。

※災害救助法適用地域(日本学生支援機構サイト)

(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/rinji/chiiki/genzai.html>)

【申請方法】

罹災証明書を用意し、インターネット出願登録サイトから申請してください。

ただし、災害の発生が出願期間の直前等で、罹災証明書の発行が間に合わない場合は、出願時は一旦入学検定料を納付し、後日罹災証明書が発行され次第、入学検定料返還申請により受け付けます。

※信州大学入学検定料返還手続

(https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/return/index.html)

(7) インターネット出願の流れ

次ページ以降を参照してください。

インターネット出願の流れ

※ここで示す流れは標準的なイメージであり、選抜により異なります。実際の画面に従って入力等してください。

出願完了までの流れ[Step1～8]



Step

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。学生募集要項を本学ホームページからダウンロード・印刷し、よく読んだうえで出願登録を行ってください。出願書類等※は、発行までに時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※出願書類等…選抜によって異なります。(調査書、顔写真画像ファイル、大学入学共通テスト出願サイトで登録したID・パス等) 詳細は学生募集要項を参照してください。



Step

2

インターネット出願登録サイトにアクセス

学部入試、編入学



https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/

大学ホームページ
からアクセス

大学院入試



<https://www.shinshu-u.ac.jp/grad/admission/>

Step

3

新規登録・ログイン

画面の手順に従って、必要事項を入力して新規登録を行ってください。
なお、新規登録が済んでいる場合は、ログインのうえStep 4へ進んでください。



① PC等の環境確認



② 注意事項の確認



③ ログイン画面から
新規登録 をクリック



④ アカウント新規登録用
メールアドレス送信



⑤ 登録したメールアドレスに
登録用URLが届きます。
※@kko-net.co.jpのドメインからのメール
を受信可能に設定してください。



⑥ パスワードを設定してください

登録したメールアドレス
とパスワードを記録!

Step

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①入試区分等の選択
(入学検定料免除申請確認も含む)



②志望学部・学科等の選択



③個人情報の入力



④お支払い方法の確認



⑤入力内容の確認



⑥登録完了(確認メールも送信される)
申し込み一覧 をクリック

Step

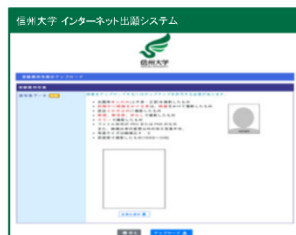
5

顔写真のアップロード

画面の手順や留意事項を必ず確認してアップロードしてください。



①申し込み一覧の画面(※)から
写真のアップロード をクリック



②画像を選択しアップロード



画像の加工禁止

※一旦ログアウトしている場合は、インターネット出願登録サイトにアクセスしなおして、再度ログインしてください。

Step

6

入学検定料等の支払い 【注意】まだ出願は完了していません

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って支払手続を行ってください。



①申し込み一覧画面(※)から
検定料のお支払い をクリック



②支払方法を選択し
お支払いサイトへ をクリック



支払方法の詳細は
サイト上で確認してください
(クレジットカード等による
決済)

※一旦ログアウトしている場合は、インターネット出願登録サイトにアクセスしなおして、再度ログインしてください。

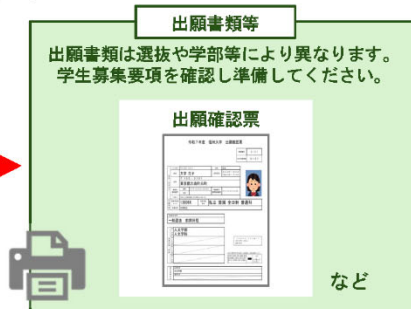
Step

7



出願書類等の郵送

出願登録、入学検定料の支払後に「出願確認票」「宛名ラベル」を印刷し、その他の出願書類等と併せて出願期間内に郵送してください。



①申し込み一覧画面(※)から
出願確認票 **印刷**、宛名ラベル **印刷** をそれぞれクリック

②宛名ラベル(出願書類等提出用)
を角形2号封筒に貼り付け

※一旦ログアウトしている場合は、インターネット出願登録サイトにアクセスしなおして、再度ログインしてください。



申込登録完了後に、登録内容の修正・変更をする場合は、Step7で印刷した出願確認票の「訂正あり」欄にチェックを入れたうえ、用紙に赤字で訂正記入してください。ただし、「入試区分」、「志望学部・学科等」、「個別テスト選択科目」、「試験場選択」の変更は認められません。

<出願完了>

出願時の
注意点

出願はインターネット出願登録サイトでの登録完了後、入学検定料等を支払い、出願書類等を郵送して完了となります。登録が完了しても**出願期間内に書類が届かなければ出願を受理しません**ので注意してください。出願期間は学生募集要項をご確認ください。インターネット出願登録は出願期間の約1週間前から24時間可能です。

Step

8



受験票の印刷

受験番号確定後に、インターネット出願登録サイトの「申し込み一覧」画面からダウンロードできます。出願登録サイトで登録したメールアドレスへ「受験番号確定メール」を送信しますので、必ず確認のうえ印刷してください。(※郵送はしません)



【印刷方法】

- ・A4サイズ
- ・両面無地の白色用紙
- ・片面印刷(白黒印刷可)
- ・下半分を切り取る



印刷した受験票は
**試験当日に
必ず持参**

①受験番号確定
メール受信

②申し込み一覧画面から
受験票 **印刷** をクリック

③試験当日

5. 選抜日時等及び選抜方法

(1) 選抜日時及び試験場

- ① 前期日程：2026 年 9 月 19 日（土） 心理学分野
 2026 年 9 月 24 日（木） 経済学分野・法学分野
 2026 年 9 月 26 日（土） 人間文化学分野

分野	時間	試験場
人間文化学分野	専門試験・小論文 9：30～11：30 面接試験 13：30～	信州大学 人文学部 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
心理学分野	筆記試験 10：00～12：00 口述試験 13：00～	信州大学 教育学部 〒380-8544 長野市西長野 6 の口
経済学分野	筆記試験 10：00～11：30 口述試験 指定された時間	信州大学 経法学部 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
法学分野		

- ② 後期日程：2027 年 1 月 30 日（土） 全分野

分野	時間	試験場
人間文化学分野	課題作文 出願時 口述試験 14：00～	信州大学 人文学部 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
心理学分野	筆記試験 10：00～12：00 口述試験 13：00～	信州大学 教育学部 〒380-8544 長野市西長野 6 の口
経済学分野	筆記試験 10：00～11：30 口述試験 指定された時間	信州大学 経法学部 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
法学分野		

(2) 選抜方法

① 人間文化学分野

前期日程は、専門試験及び面接試問の結果並びに提出書類の記載事項等を総合して判定します。

後期日程は、課題作文及び口述試問の結果並びに提出書類の記載事項等を総合して判定します。

前期日程

(ア) 一般選抜（専門試験【配点：300点】＋面接試問【評価：A～D】）

志願者は下記の専門試験詳細から出願時に、研究計画に関わる1専門領域を選択します。

専門試験詳細

専門領域	備考
哲学・思想論	問題には出願時に選択した外国語（英語／フランス語／ドイツ語／古典中国語から一つ）を含む。
社会学	問題には英語を含む。
文化情報論	問題には英語を含む。
実験心理学	問題には英語を含む。
社会心理学	問題には英語を含む。
日本史	問題には史料読解を含む。
東洋史	問題には英語・中国語などを含む。
西洋史	問題には英語・フランス語などを含む。
日本文学	問題には資料読解を含む。
日本語学	問題には資料読解を含む。
中国語学・中国文学	問題には中国語を含む。
比較文学	問題には英語および、出願時に選択した外国語（古典ギリシア語／ラテン語／フランス語から一つ）を含む。なお上記の言語すべてについて、希望者には試験場で辞書を貸与する。
ドイツ語学・ドイツ文学	問題にはドイツ語を含む。
フランス語学・フランス文学	問題にはフランス語を含む。
英語学	問題には英語を含む。
英語文学	問題には英語を含む。
芸術コミュニケーション	問題には英語を含む。

(イ) 私費外国人留学生選抜・社会人特別選抜

(小論文【配点：100点】＋面接試問【評価：A～D】)

私費外国人留学生選抜及び社会人特別選抜志願者については、小論文試験を行います。

総合人文社会科学研究科人間文化学分野の過去の試験問題をご覧になりたい場合は、「4. 出願手続(3)」に記載の「問い合わせ先」へ問い合わせしてください。

後期日程

一般選抜・私費外国人留学生選抜・社会人特別選抜

(課題作文【配点：100点】＋口述試問【評価：A～D】)

一般選抜・私費外国人留学生選抜・社会人特別選抜のいずれの志願者にも、出願時に課題作文の提出が課されます。提出された課題作文に基づき口述試問を行います。

課題作文は、使用言語は日本語とし、2,000字程度にまとめること。パソコンなどで作成し、A4用紙に印刷のうえ、その他の出願書類と同封し提出してください。

課題作文

専門領域	テーマ
哲学・思想論	「あなたの研究テーマの現代的意義」について、あなた自身の具体的な経験と精読した文献の双方をふまえたうえで、論述を行いなさい。
社会学	あなたの研究テーマについて、関連する先行研究の整理を踏まえて、リサーチクエスションとその社会的・学術的意義、リサーチデザイン（データ収集、方法）を説得的に論じなさい。
文化情報論	あなたが研究したいテーマについて、リサーチクエスションを明確にした上で、心理実験法または社会調査法を用いたデータ収集と、多変量解析を用いた分析の視点を含めて論じなさい。
実験心理学	あなたが研究したいテーマについて、関連する先行研究をもとに学術的背景を整理し、リサーチクエスションを明確にしたうえで、実験を中心とした心理学研究法によるデータ収集と分析手法を含む具体的な研究計画について論じなさい。
社会心理学	あなたが研究したいテーマについて、関連する先行研究をもとに学術的背景を整理し、リサーチクエスションを明確にしたうえで、心理学研究法によるデータ収集と分析手法を含む具体的な研究計画について論じなさい。
日本史	あなたが研究したいテーマについて、先行研究を整理して研究の到達点を示し、現在の研究状況をふまえて、今後の研究の必要性を論じなさい。
東洋史	あなたの研究テーマで利用する予定の史料について、研究史を踏まえて概略を説明した上で、研究上の課題と可能性を論じなさい。
西洋史	あなたの研究テーマについて、先行研究を整理した上で、その分野における今後の課題と可能性を論じなさい。

専門領域	テーマ
日本文学	あなたの研究テーマに関し、そのテーマを見出した学術的背景について説明した上で、現代においてそのテーマを研究する意義について論じなさい。
日本語学	現代における人文学研究の意義を視野に入れて、あなたが研究したいテーマについて、先行研究との関係および日本語学の中での位置付けに具体的に触れつつ論じなさい。
中国語学・中国文学	あなたが研究したいテーマについて、現時点における先行研究にみられる状況をまとめ、それに対するあなたの見方と今後の展望を論じなさい。
比較文学	現代における人文学研究の意義を視野に入れて、あなたが専攻する領域と研究したいテーマについて論じなさい。
ドイツ語学・ドイツ文学	現代における人文学研究の意義を視野に入れて、あなたが専攻する領域と研究したいテーマについて論じなさい。
フランス語学・フランス文学	現代における人文学研究の意義を視野に入れて、あなたが専攻する領域と研究したいテーマについて論じなさい。
英語学	現代における人文学研究の意義を視野に入れて、あなたがこれまで学び研究してきた内容をまとめ、その上で、専攻する領域と研究したいテーマについて先行研究を批評しつつ自分の仮説／主張を根拠を示しながら論じなさい。必要に応じて注（指定文字数外）を用いること。
英語文学	現代における人文学研究の意義を視野に入れ、あなたがこれまで研究してきた内容をまとめた上で、大学院で取り組みたい研究テーマについて、先行研究にかならず言及しながら具体的に論じなさい。なお、指定文字外で課題作文の中で言及した文献のリストを付すこと。
芸術コミュニケーション	芸術コミュニケーション領域において、何をどのような方法で研究したいのか、また、そのために、これまでどのような研究を進めてきたか、先行研究等にも触れながら、詳しく説明した上で、あなたの研究の人文的な意義について論じなさい。

② 心理学分野

筆記試験、口述試験を行い、その成績と出願書類の内容を総合して判定します。発達科学・認知科学・人間科学領域で使用する筆記試験の問題は一般選抜と社会人特別選抜で共通です。

(ア) 一般選抜（前期日程・後期日程）

発達科学・認知科学・人間科学領域

試験等の概要

	試験内容	配点	備考
筆記試験	心理学及びその関連領域の知識・技能、能力を評価します。	200	
口述試験	口述試験用調書等を参考に、知識・技能、能力、意欲を評価します。	100	
合計（総合点）		300	

臨床心理学コース

試験等の概要

	試験内容	配点	備考
筆記試験	心理学及びその関連領域の知識・技能、能力を評価します。	200	英語による問題を含みます（辞書の持込不可）。
口述試験	口述試験用調書等を参考に、知識・技能、能力、意欲を評価します。	100	
合計（総合点）		300	

(イ) 社会人特別選抜（前期日程・後期日程）

発達科学・認知科学・人間科学領域

試験等の概要

	試験内容	配点	備考
筆記試験	心理学及びその関連領域の知識・技能、能力を評価します。	200	
口述試験	口述試験用調書及び自己申告書等を参考に、知識・技能、能力、意欲を評価します。	100	
合計（総合点）		300	

③ 経済学分野

入学者の選抜は、前期日程、後期日程ともに、書類審査、筆記試験（推薦特別選抜を除く）、口述試験の結果を総合して行います。

（ア）一般選抜（前期日程・後期日程）

試験等の概要

	試験内容	配点	備考
書類審査		80	
筆記試験	ミクロ経済学とマクロ経済学の基礎知識	140	
口述試験	経済学及び統計手法に関する基礎学力の確認に加え、学問研究や社会・業務の課題解決への意欲の評価	80	
合計（総合点）		300	

（イ）推薦特別選抜（前期日程・後期日程）

試験等の概要

	試験内容	配点	備考
書類審査		80	
口述試験	経済学及び統計手法に関する基礎学力の確認に加え、学問研究や社会課題解決への意欲の評価	220	
合計（総合点）		300	

（ウ）社会人特別選抜（後期日程のみ実施）

試験等の概要

	試験内容	配点	備考
書類審査		120	
筆記試験	ミクロ経済学とマクロ経済学の基礎知識	60	
口述試験	経済学及び統計手法に関する基礎学力の確認、業務と当研究科での研究の関連、学問研究や社会・業務の課題解決への意欲の評価	120	
合計（総合点）		300	

④ 法学分野

入学者の選抜は、書類審査、筆記試験（推薦特別選抜を除く）及び口述試験の結果を総合して行います。筆記試験の科目は公法刑事法と民事法から選択することができます。公法刑事法は憲法又は刑法から、民事法は民法から出題されます。受験者の皆様には、試験開始後に一科目を選択した上で解答していただきます。

口述試験では学問研究や社会の課題解決に向けた意欲についての評価を行います。書類審査、筆記試験（推薦特別選抜を除く）及び口述試験の結果を総合して、本分野の履修に適する能力を有するか否かの判定を行います。志願者別の試験開始時間等については、出願受付後にメールでお知らせします。

また、選抜方法には一般選抜と推薦特別選抜、社会人特別選抜の三つの方式があります。三つの選抜方法は、書類審査、筆記試験及び口述試験の各項目のウエイトに違いがあり、使用する筆記試験の問題は共通します。

社会人特別選抜は書類審査と口述試験の評価にウエイトを置いた選抜方式となります。出願時において既に大学を卒業している者は、「社会人」として、一般選抜と社会人特別選抜の何れでも自由に選択して出願することができます（在職証明書等は不要）。

各選抜方法における比重は下表のとおりです。

（ア）一般選抜（前期日程・後期日程）

試験等の概要

	試験内容	配点	備考
書類審査		80	
筆記試験	公法刑事法と民事法から選択します。公法刑事法は憲法又は刑法から、民事法は民法から出題されます。	140	六法（解説および判例のないもの。書込みをしていないものに限る）の持込みを可とします。
口述試験	学問研究や社会の課題解決に向けた意欲についての評価を行います。	80	
合計（総合点）		300	

（イ）推薦特別選抜（前期日程・後期日程）

試験等の概要

	試験内容	配点	備考
書類審査		80	
口述試験	学問研究や社会の課題解決に向けた意欲についての評価を行います。	220	
合計（総合点）		300	

(ウ) 社会人特別選抜（後期日程のみ実施）

試験等の概要

	試験内容	配点	備考
書類審査		120	
筆記試験	公法刑事法と民事法から選択します。公法刑事法は憲法又は刑法から、民事法は民法から出題されます。	60	六法（解説および判例のないもの。書込みをしていないものに限る）の持込みを可とします。
口述試験	学問研究や社会の課題解決に向けた意欲についての評価を行います。	120	
合計（総合点）		300	

※ 法学分野における研究指導体制の情報提供について

研究対象とする法分野によっては、その法分野を専門とする教員がいなかったり、既に多数の大学院生の指導を引受けているといった事情により、合格してもその法分野を専門とする教員による研究指導を受けることが困難な場合もあります。入学試験に合格した際の特定の法分野に関する研究指導の可能性について出願前に確認したい場合は、法学分野入試事務室までご相談ください。その際、予定している研究題目についてもお知らせください。お問い合わせのあった時点での見込みとなりますが、可能な範囲で情報提供を行います。

(3) 受験に当たっての注意事項

① 受験票

受験票は、受験番号確定後にインターネット出願登録サイトの「申し込み一覧」からダウンロードできます。インターネット出願登録サイトで登録したメールアドレスへ受験番号確定のお知らせメールを送信しますので、必ず確認のうえ印刷してください（白黒印刷可）。

※ 受験番号確定のお知らせメールが試験日の1週間前になっても届かない場合は、速やかに出願した分野の入試事務室に問い合わせてください。

② 受験者心得

受験番号確定のお知らせメールに記載の URL から〈受験者心得〉にアクセスし、各分野の注意事項を印刷・熟読してください。

③ 受験の際は、「受験票」及び「受験者心得」を必ず持参してください。

④ 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後 30 分以内に自身が受験する試験室に到着した者に限り受験を認めます。ただし、面接試問、口述試問及び口述試験の集合場所への入室限度時刻については、受験者心得等において別途通知します。

⑤ 各分野が定める試験を一つでも受験していない場合には欠席者となり、合格者とはなりません。

⑥ 交通機関の事故等により、集合時刻に間に合わない場合は、直ちに出席した分野の入試事務室へ電話連絡してください。これによる遅刻者は、本学が定める基準により、受験を認めることがあります。

なお、本学においては、追試験の設定はありません。

⑦ 災害等及び交通機関の事故等により、所定の試験日程による試験実施が困難になる不測の事態が発生した場合は、試験開始時刻の繰り下げ等の措置を行うことがあります。新たな措置を講じる必要が生じた際には、本研究科 web サイト又は出願時に登録したメールアドレスへお知らせします。

(<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/humanitiesandsocialsciences/admission/>)

6. 合格者の発表

(1) 日時

前期日程	2026 年 10 月 16 日（金） 14 時
後期日程	2027 年 2 月 8 日（月） 14 時

- 受験者は、合格者の発表日時以降にインターネット出願登録サイトへログインし、合否を確認してください。（同サイト内の「申し込み一覧」から「合格者発表確認」をクリック）

なお、本学ホームページや大学構内での合格発表掲示はありません。

（注）電話やメール等による合否の問い合わせには応じられません。

(2) 合格通知と入学手続の案内

合格者には、インターネット出願登録サイト内に「合格通知書（ダウンロード）」及び「入学手続の案内」を掲載します。大学から合格通知や入学手続の案内に関する郵送等はいりません。

7. 入学手続

合格者は、入学手続期間中にインターネット出願登録サイトにログインし、「申し込み一覧」の「入学手続」から手続を行ってください。期間中に入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものととして取扱います。

(1) 入学手続期間

前期日程	2027 年 1 月 18 日 (月) ~ 1 月 22 日 (金) 締切日の 17 時まで
後期日程	2027 年 2 月 9 日 (火) ~ 2 月 16 日 (火) 締切日の 17 時まで

(2) 納付金の納入等

① 入学料・授業料

入学料	282,000 円 ※入学手続期間中に納入
授業料 (前期・後期)	各 267,900 円 [年額 535,800 円] ※入学後に口座振替で納入

(注 1) 金額は 2026 年 4 月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。

(注 2) 既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。

(注 3) 入学料・授業料の納入が著しく困難な者には、経済支援の制度を設けています。

詳細は本学の学生総合支援センターホームページ

(https://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/studentsupport/)を確認してください。

(注 4) 職業を有する社会人で修業年限 (2 年) を超えて、一定の期間にわたり計画的に履修することが認められた者に対して、年間の授業料の負担が軽減される制度があります (「10. その他 (1)」参照)。希望者は、入学手続期間に申し出てください。

② 学生保険料 (学生教育研究災害傷害保険加入料・学研災付帯賠償責任保険加入料※)

合計 2,500 円程度 ※2 年間に在学した場合の金額 ※入学手続期間中に納入

③ 同窓会費等 (合格した分野により異なります。)

④ システム使用料 (入学手続時納入総額 (①+②+③) の 2 % の額)

⑤ 上記のほかに、教科書等の教材費が必要となる場合があります。

(3) 入学手続完了後の提出書類

4 月初めに、以下の書類を提出してください。提出されない場合は、入学後でも入学許可が取消しとなる場合がありますので、ご注意ください。

① 「卒業 (修了) 証明書」1 通

出願資格において、卒業 (修了) 見込みで受験し入学手続を行った者。

② 「誓約書」1 通

本人と保証人連署の本学指定様式で全員提出。詳細は「入学手続の案内」で通知予定。

(4) 手続に当たっての注意事項

入学手続完了者であっても、2027 年 3 月 31 日までに入学資格を満たすことができない者は、入学を許可しません。

8. 障害等のある受験者に対する合理的配慮について

本学では、障害等のために受験上の合理的配慮又は病気・負傷のためにその他配慮が必要な場合は、事前相談を受け付けています。受験上の合理的配慮については、内容によって対応に時間を要することがありますので、出願を検討している段階から申請を受け付けますので、なるべく早い時期に申請してください。

※ 日常生活において普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を利用する場合も申請を行ってください。

(1) 申請期日：出願受付開始日の 1 ヶ月程度前まで

※ 申請期日以降の申請については、配慮内容や実施方法について十分な協議を行うことができない可能性があり、結果として必要かつ適当な配慮の提供を行うことが難しくなる場合があります。

※ 出願後は申請事由が出願後に発生したものを除き、対応できません。出願後に発生した申請事由により申請を行う場合は、速やかに「(3) 連絡先」へ連絡してください。

(2) 申請書類

申請には以下の書類が必要になりますのでご準備ください。

① 本学所定の事前相談申込書

本学の web サイト（入試情報ポータル／受験上の配慮を必要とする志願者の事前相談
https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/consultation/index.html）からダウンロード

② 医師の診断書や障害者手帳

③ その他配慮申請に伴い配慮事項等がわかる書類

（必要に応じて大学側から追加の書類提出を求める場合があります。）

(3) 連絡先

「4. 出願手続 (3) 書類提出先及び問い合わせ先」の各入試事務室

(4) 修学上の合理的配慮（入学後の合理的配慮）

修学上の合理的配慮については、受験上の合理的配慮とは別に相談が必要になります。内容によって対応に時間を要することもありますので、合格発表後あるいは入学手続後、できるだけ早く上記「(3) 連絡先」に連絡してください。

なお、受験上の合理的配慮が実施された場合でも、修学上の合理的配慮の内容については大学の学びに合わせて別途調整することになります。

9. 入試情報の開示

本選抜に係る入試情報を次のとおり開示します。

(1) 志願者数、受験者数、合格者数、入学者数

① 開示方法：web サイト（下記 URL 参照）

(<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/humanitiesandsocialsciences/admission/>)

② 開示時期：2027 年 4 月以降

(2) 個人情報（試験成績）：総合点又は得点・評価

① 開示期間：2027 年 3 月 15 日（月）～3 月 26 日（金）

② 申込方法：

成績開示を希望する志願者は、インターネット出願登録の際に、「入試成績開示請求の希望」で「希望する」を選択し、入学検定料と併せて指定の成績開示手数料をお支払いください。

出願時に成績開示を希望しなかった場合は、出願後に成績開示を希望することはできません。

③ 開示方法：

開示期間にインターネット出願登録サイトにログインし、「申し込み一覧」から「成績開示」をクリックすることで、確認することができます。

※ 以下の場合には開示対象となりませんので、入学検定料の返還の際に、併せて成績開示手数料の返還を行います。

・成績開示手数料を納付したが出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

10. その他

(1) 社会人学生の学修について

① 本研究科は、大学院設置基準第 14 条（「修士課程においては、教育上特別の必要がある場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」）による教育を実施しています。社会人学生は、授業の開講時間や履修方法等について相談しながら、学修を進めます。心理学分野臨床心理学コースへの出願を検討している場合は、下記③をご確認ください。

② 職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望した場合は、長期にわたる教育課程の履修を認めることができます。希望がある場合は、入学手続き時に申請を行い、4 年を限度に許可します。

③ 心理学分野臨床心理学コースは、資格取得のために 540 時間以上の実習を行うため、在職しながら学修することは困難です。2 年間大学院での学修に専念できる状況を整えてから入学するよう、ご準備ください。

④ 社会人で出願を考えている場合、あるいは組織において社員や職員の派遣を検討されている場合等、お気軽にお問い合わせください。

社会人が在職のまま大学院に入学する場合、様々なケースが考えられます。修学方法（特に勤務と通学の時間的調整を必要とするとき）、その他修学補助制度など、事項は問いません。

(2) 出願等に関するお問い合わせ先は「4. 出願手続 (3) 書類提出先及び問い合わせ先」を参照してください。なお、受験に際して体調等に不安がある場合は、早めにご相談ください。